

第2回 要求開発事例研究会・アジャイルコミュニティ 合同会合

平成28年10月28日、要求開発事例研究会(幹事：北川貴之 東芝ソリューション(株))・アジャイルコミュニティ(幹事：角野幸子 NECソリューションイノベータ(株)、安藤寿之 NECソリューションイノベータ(株))合同会合がJISA会議室で開催された。出席者は20名。

会合では西潟憲策委員(NECソリューションイノベータ(株))より「社内でアロビを飼育して実践するアジャイル開発 〜クラウドサービス『NEC 養殖管理ポータル』の開発〜」についてプレゼンがあり意見交換を行った。

初めに、プロジェクトの概要を説明し、「最初にどのようにシステムを検討したか」「どのようにフィードバックを得て、改善したか」について説明があった。

次にアジャイル開発の適用評価として「アジャイル開発を適用することで随時発生する要求に適応できた」「プロダクトオーナーもQCDに満足」していることが挙げられ、具体的なシステム適用事例が紹介された。

また、アジャイル開発は常にフィードバックをもらいながら開発を進めるアジャイル開発はプロジェクトに参加したメンバの関わり方、プロジェクトに与えた環境が製品を買えるからこそ、可能性がある」と述べた。

なお、本事例は「[情報処理学会デジタルプラクティス Vol.7 No.4](#)」(2016年7月15日刊行)に掲載されている。

次回の要求開発事例研究会、アジャイルコミュニティはそれぞれ12月に開催予定である。



(溝尾)